NBAR プロトコル パックの動的アップグレード

- NBAR プロトコル パックの動的アップグレード （1 ページ）
- NBAR2 プロトコル パックのアップグレード （2 ページ）
- カスタム アプリケーションの設定 （3 ページ）

NBAR プロトコル パックの動的アップグレード

プロトコル パックは、は、デバイスのシスコ ソフトウェアを置き換えることなく、デバイスでの Network Based Application Recognition（NBAR）エンジン プロトコルのサポートを更新するソフトウェア パッケージです。プロトコル パックには、NBAR によって公式にサポートされている、コンパイル済みでパック済みのアプリケーションに関する情報が含まれています。各アプリケーションについて、プロトコル パックには、アプリケーション署名とアプリケーション属性の情報が含まれています。各ソフトウェア リリースには、組み込みのプロトコル パックがバンドルされています。

Application Visibility and Control（AVC）機能（ディープ パケット インスペクション（DPI）に使用）は分散型アプローチを使用してワイヤレス製品に対応します。このアプローチでは、DPI を実行して Netflow メッセージで結果を報告するために、アクセス ポイント（AP）またはコントローラ上で実行されている NBAR が活用されます。

AVC DPI テクノロジーは、認識されたトラフィックを更新し、カスタム タイプのトラフィック（カスタム アプリケーションと呼ばれます）を定義する機能をサポートしています。NBAR は、ローカル モードではコントローラ上で実行され、Flex モードおよびファブリック モードでは AP 上で実行されます。ローカル モードでは、AP から着信するすべてのトラフィックがワイヤレス コントローラにトンネリングされます。

（注）

- NBAR はすべてのモードでサポートされていますが、NBAR プロトコル パックのアップグレードはローカル モード（中央スイッチング）と FlexConnect モード（中央スイッチング）でのみサポートされています。
- カスタム アプリケーションは、ローカル モード（中央スイッチング）と FlexConnect モード（中央スイッチング）でのみ使用できます。

プロトコル パックには次の特長があります。

- 簡単かつ迅速にロードできます。
- 新バージョンのプロトコルパックにアップグレードしたり旧バージョンのプロトコルパックに戻したりできます。
- デバイスのリロードは必要ありません。
- サービスを中断することはありません。

プロトコル パックのアップグレード

プロトコル パックのアップグレードを使用すると、スイッチ全体やアプライアンス イメージ全体を更新することなく、NBARエンジンを更新して、新しいタイプのプロトコルやトラフィックを認識することができます。また、システム全体を再起動する必要もなくなります。

NBAR2 プロトコル パックは Cisco Software Center で次の URL からダウンロードできます：https://software.cisco.com/download/navigator.html

カスタム アプリケーション

カスタム アプリケーションを使用すると、宛先 IP、ホスト名、URL などの一連のカスタムルールに基づいてトラフィックを認識するよう NBAR エンジンに強制することができます。

カスタム アプリケーション名は Web UI または NetFlow コレクタに表示されます。

NBAR2 プロトコル パックのアップグレード

NBAR2 プロトコル パックをアップグレードするには、次の手順に従います。

始める前に

[Software Download] ページからプロトコル パックをダウンロードし、ブートフラッシュにコピーします。https://software.cisco.com/download/home

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**configure terminal** 例： `Device# configure terminal`	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	**ip nbar protocol-pack bootflash:***pack-name* 例： `Device(config)# ip nbar protocol-pack bootflash:mypp.pack`	プロトコル パックをロードします。

カスタム アプリケーションの設定

カスタム アプリケーションを設定するには、次の手順に従います。

（注） カスタム アプリケーション ルールを追加すると、それらのルールに一致する新しいフローのみが表示されます。既存のフローは、引き続きデフォルトの NBAR ルールで識別されます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**configure terminal** 例： `Device# configure terminal`	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	**ip nbar custom** *custom-protocol* **http host** *host-string* 例： `Device(config)# ip nbar custom myapp`	カスタムプロトコルを設定し、HTTP ホストを設定します。 （注） カスタム アプリケーションは、組み込みプロトコルより優先されます。

ステップ 3	次のコマンドの 1 つを実行します。
	• **http host** *host-name*
	• **ip address** *ip-address*
	例：
	`Device(config-custom)# http host www.cisco.com`
	`Device(config-custom)# ip address 8.9.71.50 8.9.71.11 8.9.71.14`
		IP プロトコルに基づいて HTTP ホストまたはカスタム プロトコルを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	**port** *port-no* 例： `Device(config-custom)# port 1111`	使用するポート番号を設定します。
ステップ 5	**dscp** *dscp-value* 例： `Device(config-custom)# dscp 0`	DSCP を設定します。
ステップ 6	**direction any** 例： `Device(config-custom)# direction any`	フローの方向を設定します。

次のタスク

NBAR2 の詳細については、次の「NBAR Configuration Guide」を参照してください：
https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios-xml/ios/qos_nbar/configuration/xe-3s/qos-nbar-xe-3s-book.html